

4 公益財団法人名古屋産業振興公社

令和7年7月1日現在

設立年月日	平成8年2月1日	代表者氏名	理事長 下山 浩司		
所在地	名古屋市千種区吹上二丁目6番3号			電話番号	052-735-2115
ホームページアドレス	https://www.nipc.or.jp/				
資本金・基本金	215,390千円	市出資・出捐金	120,000千円 (55.7%)		
所管部局	経済局産業労働部産業企画課			電話番号	052-972-2412
設立目的	産業技術の研究開発の促進及び普及啓発、産業に関する人材の育成、経営の支援、経済交流の促進等による中小企業者等への総合的な支援を通じて、市民福祉の向上に寄与すること並びにものづくりをはじめとする地域産業の高度化及び新たな産業の創造・育成を図ることにより、中部圏の中核たる名古屋市の産業振興に寄与する。				
主な事業	事業名	令和6年度 事業費	事業の概要		
	中小企業振興会館管理運営	643,696千円	名古屋市中小企業振興会館の管理運営		
	新事業創出支援事業	298,908千円	中小企業デジタル活用支援事業、ドローンロボット活用事業創出支援事業、創業や中小企業の新事業を支援するための窓口相談、企業訪問やセミナーの開催他		
	デザインホール運営	235,937千円	デザインホールの管理運営		
役員数	常勤				非常勤
	役員数	4人	(うち市派遣)	1人	(うち市OB)
	職員数	50人	(うち市派遣)	8人	(うち市OB)
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)	6,528千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)	5,923千円	正規職員 平均年齢 (市派遣職員除く)	44.1歳
		令和4年度	令和5年度		令和6年度
市からの財政支出	委託料	593千円	707千円	1,314千円	
	内 隨意契約金額	(593千円)	(707千円)	(1,314千円)	
	補助金	2,884,147千円	1,259,918千円	676,466千円	
	指定管理料	56,847千円	69,849千円	55,762千円	
損益計算書 (正味財産増減計算書)	貸付金 (年度末残高)	8億円	8億円	7億円	
	経常収益	4,051,833千円	2,572,914千円	2,148,607千円	
	経常費用	4,038,814千円	2,584,309千円	2,155,118千円	
	経常利益(損失)	13,019千円	▲ 11,395千円	▲ 6,510千円	
貸借対照表	当期利益(損失)	21,127千円	▲ 11,215千円	▲ 10,936千円	
	総資産	2,522,874千円	2,263,262千円	2,184,233千円	
	内 流動資産	(923,079千円)	(690,530千円)	(652,035千円)	
	内 固定資産等	(1,599,795千円)	(1,572,732千円)	(1,532,198千円)	
	総負債	1,400,950千円	1,160,806千円	1,119,677千円	
	内 流動負債	(602,979千円)	(407,490千円)	(415,001千円)	
	内 固定負債等	(797,971千円)	(753,316千円)	(704,676千円)	
	純資産(正味財産)	1,121,924千円	1,102,456千円	1,064,556千円	

経営に関する指標（共通指標）

4 公益財団法人名古屋産業振興公社

○法人の自立性		令和5年度	令和6年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}}$	51.7%	34.1%	▲17.6%
市との随意契約比率	$\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}}$	100.0%	100.0%	0.0%
市職員の役員就任割合	$\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}}$	15.0%	15.0%	+0.0%
固有職員比率	$\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}}$	83.3%	84.0%	0.7%
○組織運営の効率性		令和5年度	令和6年度	対前年度増減
管理費比率	$\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}}$	0.6%	0.8%	0.2%
○財務の健全性		令和5年度	令和6年度	対前年度増減
自己資本比率	$\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}}$	48.7%	48.7%	+0.0%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	169.5%	157.1%	▲12.4%
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	84.7%	86.6%	+1.9%
借入金依存度	$\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}}$	31.1%	30.0%	▲1.1%
剰余金(欠損金)	$\frac{\text{純資産(正味財産)}}{-\text{基本金・資本金}}$	887,066千円	849,166千円	▲ 37,900千円

○ 経営戦略計画（R5～R7）の概要

経営戦略方針

- ・新たな社会課題への対応に向けた取り組みを支援します
- ・新たな商品・サービスの創出を支援します
- ・企業間の交流を促進します
- ・生産現場の課題解決を支援します
- ・発展的な財団運営を進めます
- ・情報発信力を強化し、認知度の向上を図ります

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	6目標値	6実績値
新たな社会課題への対応に向けた取り組みを支援します 【公共サービスの充実】	産学行政連携支援件数(件)	17	17
	新規採択件数(件)	2	4
	訪問企業数(社)	18	18
	講演会参加者数(名)	250	580
新たな商品・サービスの創出を支援します 【公共サービスの充実】 【財務内容の改善・向上】	重点支援成果達成企業(社) (新事業支援センター)	10	10
	重点支援成果達成企業(社) (nabi金山／白金)	2	1
	nabi金山／白金入居率(%)	83.5	90.6
	創業件数(件)	50	47
企業間の交流を促進します 【公共サービスの充実】 【財務内容の改善・向上】	展示会出展社数(社)	623	552
	マッチングに向けた取組件数(件)	3	2
	中小企業振興会館展示施設稼働率(%)	68.5	65.0
	デザインホール稼働率(%)	61.7	54.3
生産現場の課題解決を支援します 【公共サービスの充実】	専門家派遣(工業技術・技能指導)実施回数(回)	24	21
	研修・講習会受講者数(名)	318	205
発展的な財団運営を進めます 【人材力・現場力の強化】 【効率性の発揮と成果】	研修受講・資格取得者数(名)	6	5
	削減業務時間数(令和4年度比較)(時間)	200	596
情報発信力を強化し、認知度の向上を図ります 【効率性の発揮と成果】	メディア記載件数(件)	20	35